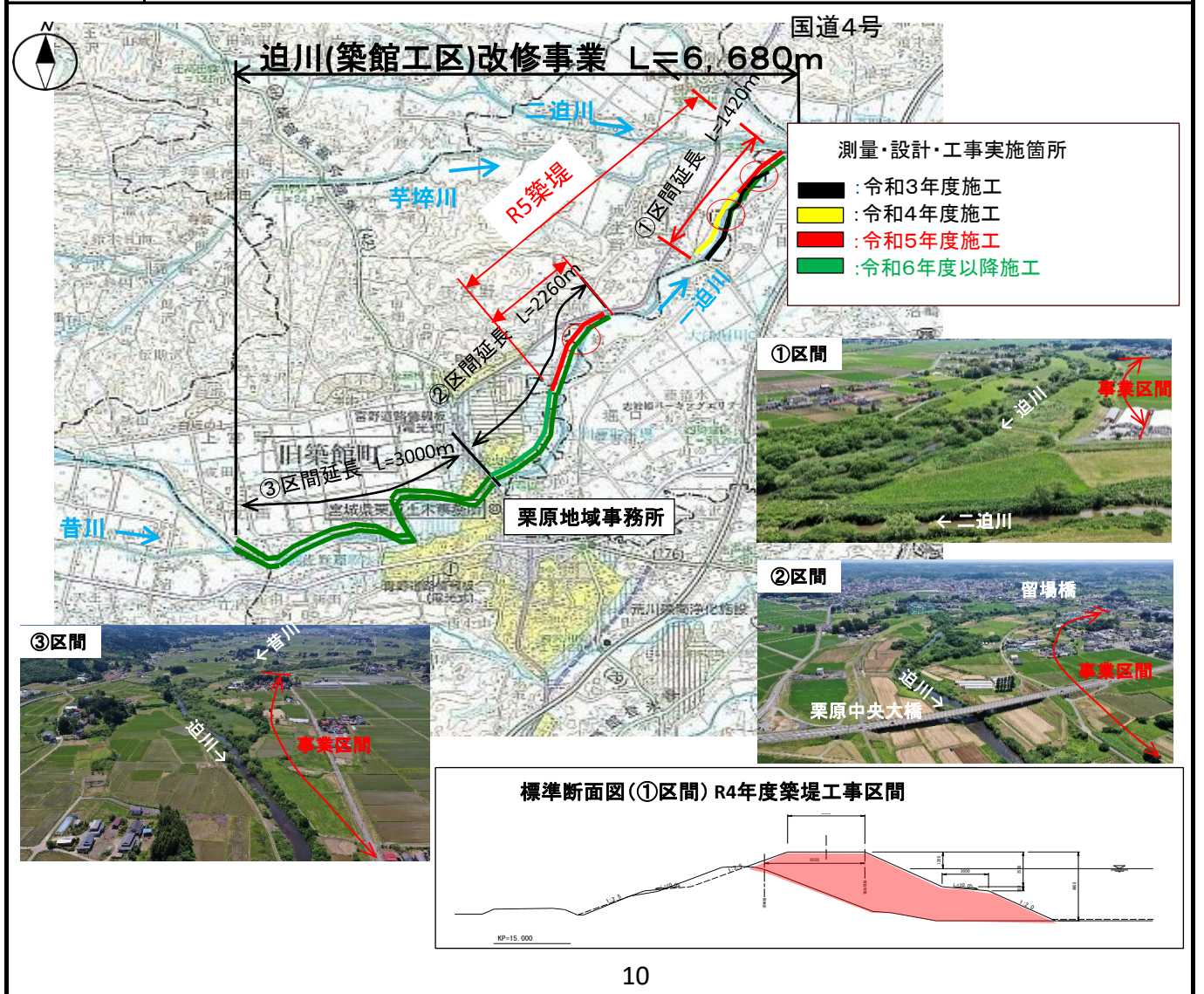


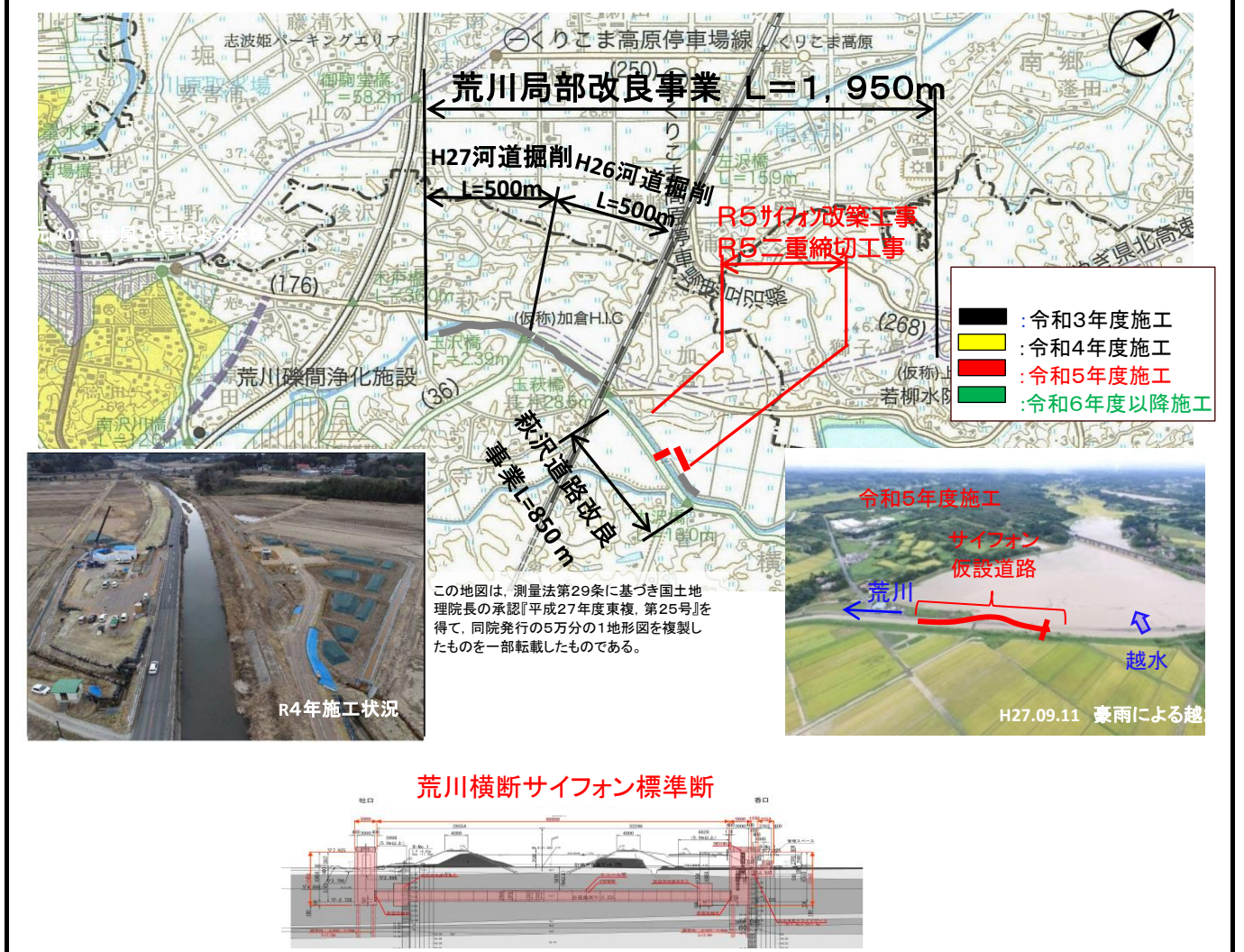
一級河川迫川(築館工区) 河川改修事業

事業名	社会資本整備総合交付金	
事業概要	<p>迫川は、栗駒山麓を水源に、栗原市及び登米市を貫流して旧北上川に合流する北上川水系の一級河川であり、流域面積約913km²、流路延長約95kmと県内屈指の規模を誇っている。</p> <p>事業箇所は二迫川合流部から昔川合流部付近までの左岸側堤防で、堤防高さが不足していることが確認されている。背後地には栗原市立栗原中央病院や宮城県築館高校等の重要施設が密集しているため、洪水時に越水等で浸水すると被害は甚大となってしまう。このため、嵩上げなど堤防機能の強化を図ることで冠水被害の軽減を図るものである。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 栗原市築館</p> <p>2 全体事業費 C=約2,000百万円</p> <p>3 施工延長 L=6,680m</p> <p>4 事業期間 令和元年度～令和8年度(予定)</p> <p>5 進捗率(R4) 18%</p> <p>6 事業概要 築堤(左岸)L=6,680m等</p>	<p>【令和5年度事業概要】</p> <p>1 事業費 C=369百万円 (うち繰越C=169百万円)</p> <p>2 事業概要 築堤盛土工 L=1,000m 樋管設計 3基 文化財調査 一式</p>
事業効果	河川改修により流下能力の向上を図り、洪水被害が軽減され、地域の安全・安心が確保される。	



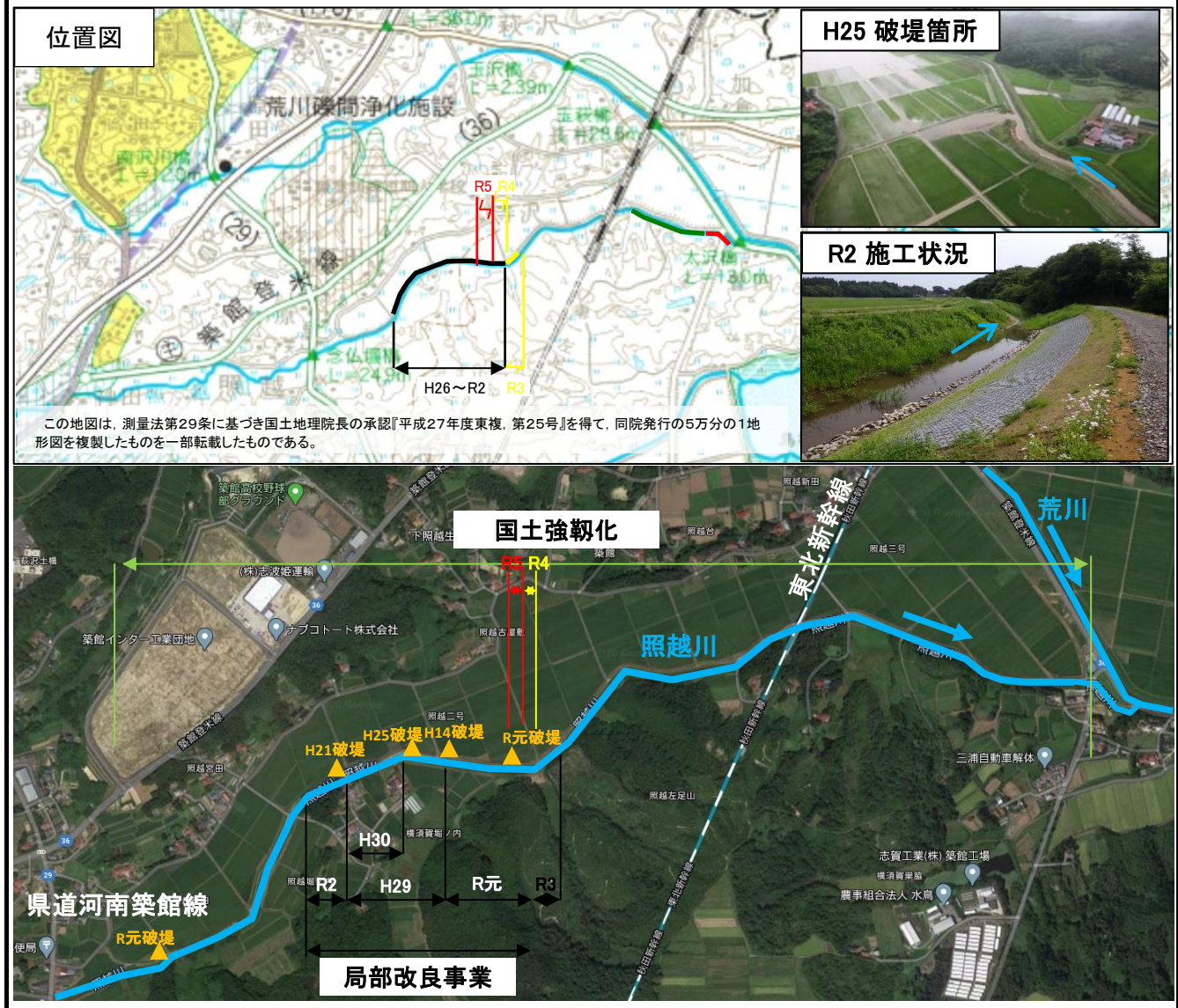
一級河川荒川 河川改修事業

事業名	(県単)河川局部改良改良事業	
事業概要	<p>荒川は、栗原市築館南部の丘陵地を水源として伊豆沼に注ぐ一級河川である。近年は国道4号バイパスやみやぎ県北高速幹線道路、工業団地が整備されるなど、流域内における開発動向が著しい。</p> <p>事業箇所は、(主)築館登米線との兼用堤区間であり、昭和30～40年代に災害関連等で改修済であるが、軟弱地盤なため交通荷重や地震等の影響で堤防が沈下し、洪水時に越水等で県道や周辺田畑が長時間冠水する被害が発生している。このため、荒川堤防嵩上げとともに兼用堤区間の道路拡幅・嵩上げなど堤防機能の強化を図り、流下能力を向上させることで冠水被害の軽減を図るものである。</p> <p>右岸側は、道路改良事業と一体で整備を図り、左岸側は河川改修事業として築堤や護岸及び橋梁等の整備を実施する。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 栗原市築館照越</p> <p>2 全体事業費 C=1169百万円</p> <p>3 施工延長 L=1,950m</p> <p>4 事業期間 平成26年度～令和7年度(予定)</p> <p>5 進捗率 65%</p> <p>6 事業概要 築堤(左岸)L=950m サイフォン改築,橋梁1橋,河道掘削L=1km</p>	<p>【令和5年度事業概要】</p> <p>1 事業費 C=352百万円(うち繰352百万)</p> <p>2 施工延長</p> <p>3 事業概要 荒川横断サイフォン改築工事 一式 二重締切工事 一式 ポンプ補償 一式</p>
事業効果	荒川改修により流下能力の向上を図り、洪水被害が軽減され、地域の安全・安心が確保される。	



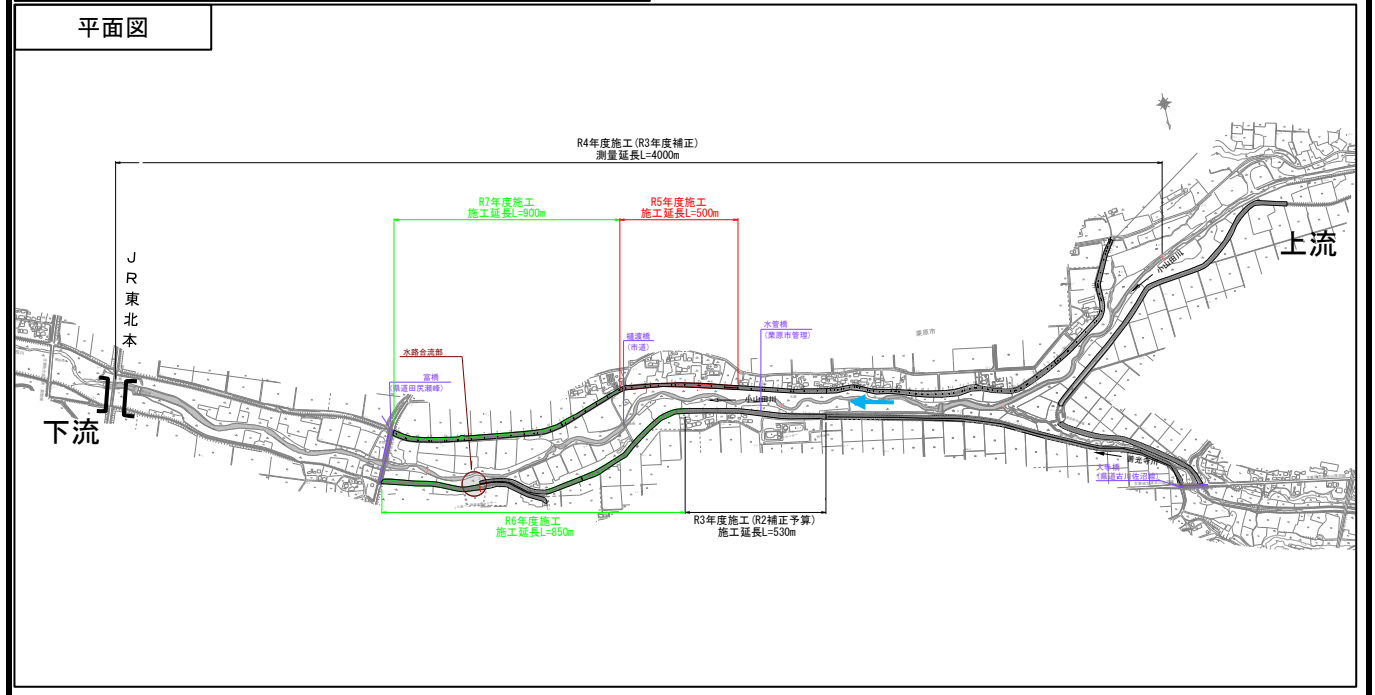
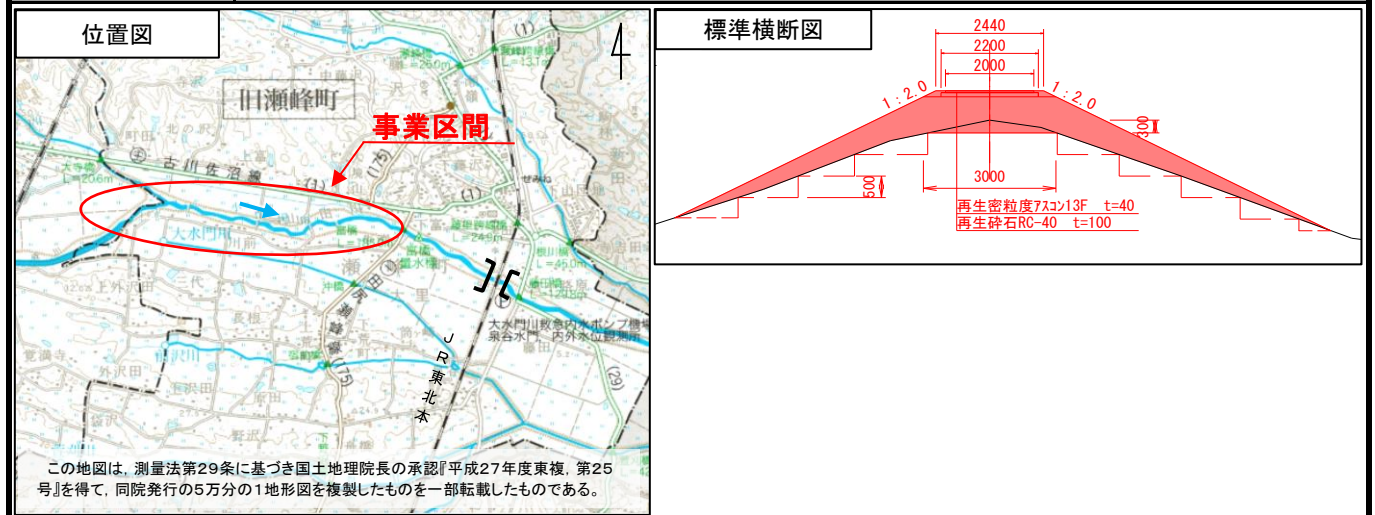
一級河川照越川 河川改修事業

事業名	(補助)防災・安全交付金事業	
事業概要	<p>照越川は、栗原市築館南部の丘陵地を水源として東流し、荒川に合流する一級河川である。</p> <p>河川断面が狭隘なため、これまで台風や豪雨時に破堤や越水、法欠等が生じ、周辺の水田が長時間冠水するなど、農作物への収穫等も含め甚大な被害を招いている。このため、令和2年度までに被害の常襲区間を局部改良事業にて河道掘削や築堤等により流下能力を向上させ、流域における洪水被害の軽減を図ってきたところである。</p> <p>令和3年度以降は、荒川合流点付近にて河道掘削及び護岸設置により一層の流下能力の向上を図り、被害の常襲区間のより一層の安心安全を図るものである。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 栗原市築館照越</p> <p>2 全体事業費 C=425百万円</p> <p>3 施工延長 L=1,360m</p> <p>4 事業期間 平成26年度～令和7年度(予定)</p> <p>5 進捗率(R4年度末) 87.0%</p> <p>6 事業概要 護岸工 A=7,510㎡</p>	<p>【令和5年度事業概要】</p> <p>1 事業費 C=18百万円 (うち繰越C=18百万円)</p> <p>2 施工延長 L=95m</p> <p>3 事業概要 護岸工 A=570㎡</p>
事業効果	河川改修により洪水被害が軽減し、地域の安全・安心が確保される。	



一級河川小山田川 河川改修事業

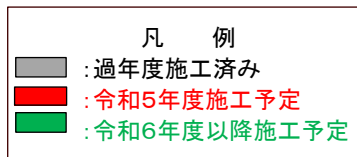
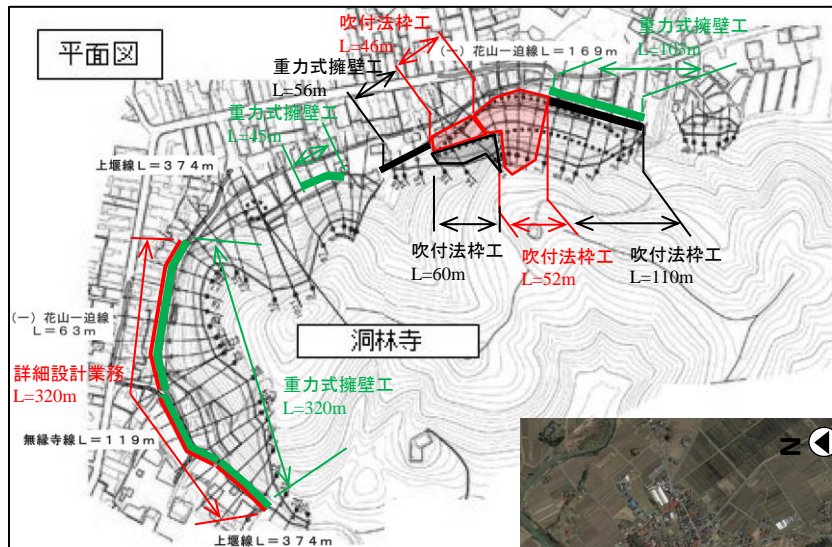
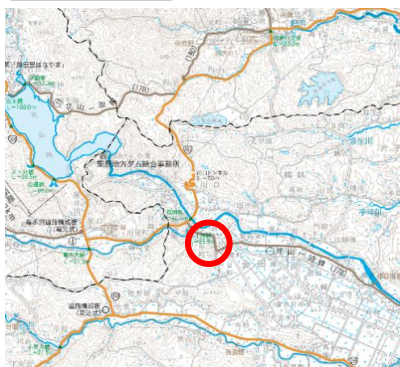
事業名	(補助)防災・安全交付金事業	
事業概要	<p>小山田川は、大崎市岩出山の丘陵地を水源に、栗原市南部の清水・瀬峰を東流して蕪栗沼に流入する一級河川である。</p> <p>事業箇所は、昭和40年代に局部改良により整備済であるが、整備後40年以上経過し、堤防内には草木茎が根付くなど脆弱化や堤体の沈下等が顕著であり、洪水時に越水や破堤を招く危険が高いことから、草木根や茎を除去し、堤防嵩上げや築堤盛土を行うことで堤防機能の向上をさせると共に、堤体の天端舗装を行い、堤体への雨水の浸透を抑制し、越流水による法肩の浸食防止を図っている。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 栗原市清水～瀬峰</p> <p>2 全体事業費 C=417百万円</p> <p>3 施工延長 L=4,400m</p> <p>4 事業期間 平成26年度～令和7年度(予定)</p> <p>5 進捗率(R4年) 62%</p> <p>6 事業概要 盛土 19,460m³ 舗装 11,740m</p>	<p>【令和5年度事業概要】</p> <p>1事業費 C=40百万円</p> <p>2施工延長 L=500m</p> <p>3事業概要 施工延長 L=500m 築堤盛土工 L=500m 調査設計 一式</p>
事業効果	堤防機能の強化により洪水被害が軽減され、地域の安全・安心が確保される。	



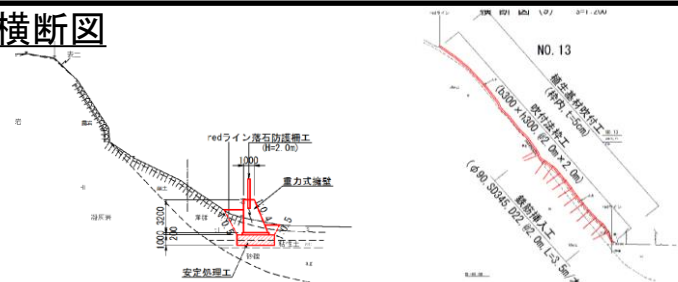
川口 急傾斜地崩壊対策事業

事業名	社会資本整備総合交付金事業		
事業概要	栗原市一迫川口地区は、一般県道花山一迫線沿いに住宅等が密集した集落であり、住宅等の背後は急峻な丘陵地が続いている。 事業箇所は、岩手・宮城内陸地震や東日本大震災、さらに平成27年9月の関東・東北豪雨等の度に、湧水や落石・亀裂等が発生した箇所が見られ、斜面が崩壊した場合、斜面下の集落や県道まで崩壊土が及ぶため危険性のある斜面について崩壊対策を行い、地域住民の安全な暮らしを確保する。		
事業内容	【全体計画】 1 事業箇所 栗原市一迫川口地内 2 全体事業費 C=1,081百万円 3 施工延長 L=701m 4 事業期間 平成30年度～令和11年度(予定) 5 進捗率(R5.3末) 22% 6 事業概要 重力式擁壁工, 法枠工	【令和5年度概要】 1 事業費 C=154百万円 (内繰越 54百万円) 2 施工延長 L=98m 3 事業概要 吹付法枠工A=1,940m ² 詳細設計業務 一式	
事業効果	土砂災害を未然に防止し、安全で安心な暮らしを確保する。		

位置図



代表横断図



虎沢砂防堰堤 土石流対策事業

事業名	土石流対策	
事業概要	栗原市花山草木沢宿地内は高低差100m内外の丘陵地形で構成されており、この地内にある虎沢はいくつもの支流が合流して形成される溪流の小河川である。 事業箇所の第1号虎沢堰堤は、旧基準に基づき設計・施工され、昭和44年2月に完成し、50年以上経過している施設である。また、流域内は昭和40年代から昭和50年代に行われた大規模な碎石掘削による地形変化が著しく、流域面積・流域内の地形状況及び降雨量も変化しており、現施設では土砂流出の防止が困難となる恐れがある。 このため、現基準に準拠した施設へ改築し、土砂流出の防止を図るものである。	
事業内容	【全体計画】 1 事業箇所 栗原市花山草木沢宿地内外 2 全体事業費 C=120百万円 3 施工延長 L=41m 4 事業期間 令和3年度～令和5年度(予定) 5 進捗率(R5.3末) 15% 6 事業概要 コンクリート工, コンクリートブロック積工	【令和5年度概要】 1 事業費 C=10百万円 (内繰越 10百万円) 2 事業概要 用地測量 A=0.079ha
事業効果	既設堰堤の改築により、土砂の流出を防止し、下流地域の安全・安心な暮らしを確保する。	

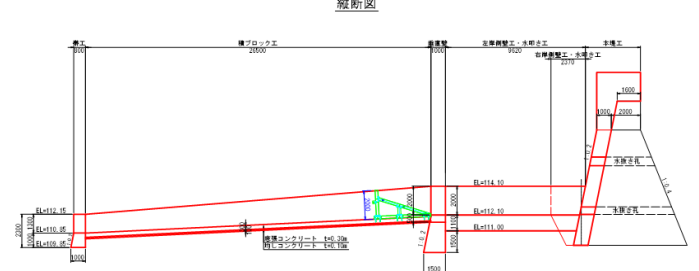
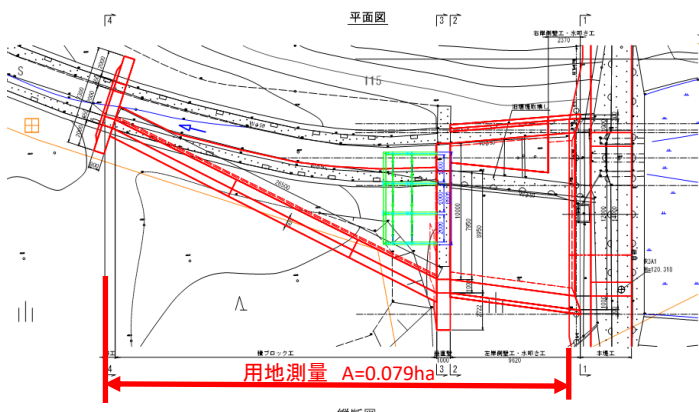
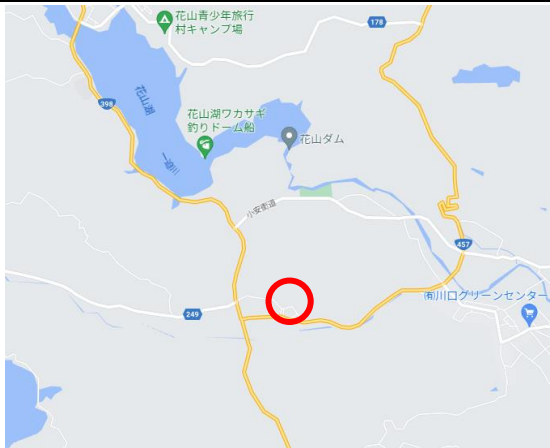


写真-3.1.2 P2 堰堤堆砂状況